

いわて女性の活躍促進連携会議における令和5年度事業について

1 令和5年度取組方針

ジェンダー平等の実現に加え、県の重点施策である人口減少対策を進めるうえでも、女性活躍を一層推進していくことが重要であることから、県の女性活躍推進の3つの重点事項と連携した取組や部会活動の充実により、様々な分野で女性が活躍できるよう推進する。

【重点事項】

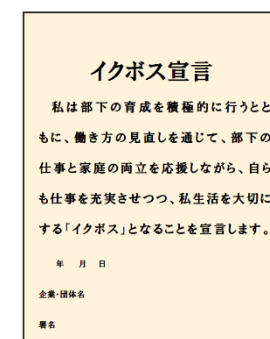
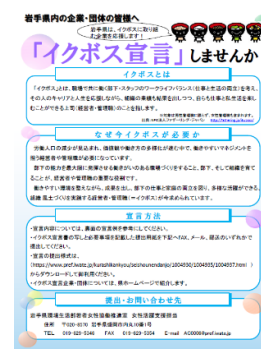
①女性が活躍できる職場環境づくり ②女性の就業・キャリア形成支援 ③情報発信の充実

2 女性活躍支援の強化(重点事項)


(1) 女性が活躍できる職場環境づくり

ア いわて女性活躍企業等認定制度・イクボスなど女性活躍関連制度の普及拡大

県の各部局や関係機関と連携し、いわて女性活躍企業等認定制度の認定メリット拡充に向けた取組を進め、いわて女性活躍企業等認定制度やイクボスなど女性活躍関連制度の普及拡大を図り、女性が働きやすい環境づくりを促進する。



イ 経営者層への働きかけ強化【一部新規】

事業名	内容
<p>(ア) いわて女性活躍エグゼクティブアドバイザー</p> <p>【新規】</p>	<p>〔目的〕 女性活躍分野の外部専門人材を委嘱し、女性活躍促進による企業経営上のメリットを経営者層に浸透普及</p> <p>〔内容〕 矢島 洋子氏による講演をキャンペーン的に展開 (令和5年度中に3回実施に向けて準備中)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>矢島 洋子氏プロフィール 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 執行役員 主席研究員 女性活躍推進・ダイバーシティマネジメント戦略室室長</p> <p>【専門分野】 少子高齢化社会対策、組織・社会のダイバーシティ推進、ワーク・ライフバランス</p> <p>【職歴等】 2004年4月～2007年3月 内閣府男女共同参画局男女共同参画分析官 2010年度～2020年度 中央大学大学院戦略経営研究科 客員教授 2019年度～ 東京都「子供・子育て会議」委員 2020年度～ 文部科学省「女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業」委員 2022年度～ 日本女子大学「ライフロング・キャリア・デザイン」講師 2022年度～ 総務省「ポスト・コロナ期の地方公務員のあり方に関する研究会」委員 2023年度～ 厚生労働省「労働政策審議会雇用環境・均等分科会」委員 2023年度～ こども家庭庁「こども家庭審議会基本政策部会」委員 他、官庁及び地方自治体等の研究会・委員会委員及び研修・講演講師の実績多数</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  <p>矢島 洋子 氏</p> </div>
<p>(イ) 経営者セミナーの開催</p> <p>(年2回)</p>	<p>〔目的〕 女性活躍に向けた経営者や管理職の理解促進</p> <p>〔内容〕 女性活躍の必要性やメリットについての講演や、先進的な企業の経営者等からの事例紹介</p> <p>〔方法〕 オンライン開催とするが、県内1箇所で参集会場を設ける。</p> <p>〔人数〕 各70名程度</p>

ウ 若者女性に選ばれるモデル企業の創出と発信【新規】

事業名	内容
若者女性に選ばれるモデル企業創出事業（ハンズオン支援）	<p>〔目的〕 若者女性の社会減対策として、県内企業・団体の女性の活躍促進に向けた取組を伴走支援し、若者女性が働きたいと思えるモデル企業を創出する</p> <p>〔内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公募による県内企業・団体（10社）に、社会保険労務士等のアドバイザーを派遣 ・ 公募と併せ、本連携会議構成団体や市町村等に推薦依頼 ・ モデル企業の取組のプロセスや実績・成果は、県WEBサイトや報道等での情報発信により他企業へ波及



(2) 女性の就業・キャリア形成支援

ア 女性社員のキャリア形成支援セミナー（若手社員・中堅社員対象 各年1回）

事業名	内容
(ア) ロールモデル提供セミナーの開催（若手女性社員対象）	<p>〔目的〕 自身のキャリアプランの具体化やキャリアアップへの意識醸成</p> <p>〔内容〕 ロールモデルとなる女性の体験談の発表やグループでの意見交換</p> <p>〔方法〕 オンライン開催とするが、県内1箇所で参集会場を設ける。</p> <p>〔人数〕 50名程度</p>



事業名	内容
(イ) ステップアップ支援セミナーの開催（中堅女性社員対象）	<p>〔目的〕 自身の目指すリーダー像の確立やリーダーとなる意識を醸成</p> <p>〔内容〕 リーダーに必要な心構えについての講義やグループワーク</p> <p>〔方法〕 オンライン開催とするが、県内1箇所で参集会場を設ける。</p> <p>〔人数〕 50名程度</p>



イ 女性のデジタル分野での活躍促進【新規】

事業名	内容
(ア) デジタル人材への理解促進セミナーの開催	<p>〔目的〕 女性デジタル人材の育成を支援することにより、女性の長期的な経済的自立やデジタル分野におけるジェンダーギャップの解消を図る</p> <p>〔内容〕 デジタル人材に該当する各職業やデジタルスキルの習得方法の紹介等</p> <p>〔方法〕 参集とオンラインのハイブリッド開催</p> <p>〔人数〕 70名程度（ひとり親世帯等など多くの女性に向け周知、準備中）</p>
(イ) デジタルスキル習得体験の開催	<p>〔目的〕 同上</p> <p>〔内容〕 (ア) のセミナー受講者で希望者によるデジタルスキル習得体験</p> <p>〔方法〕 参集開催（3回連続）</p> <p>〔人数〕 30名程度</p> <div data-bbox="757 1117 1982 1404"> <pre> graph LR A["導入セミナー ・理解促進セミナー （オンライン）1回 ・スキル習得体験 （集合）3回"] --> B["導入セミナー受講後 スキル習得 （職業訓練、民間スクール等）"] B --> C["経済的自立 キャリア形成 社内での キャリアアップ 起業 スキルを活かして 就職・転職"] </pre> </div>

ウ 働きたい・働くことに不安のある女性向け就労支援セミナー【拡充】

事業名	内容
困難を抱える女性向け就労支援セミナーの開催	<p>〔目的〕 就労へ結びつけるためのマインド向上</p> <p>〔内容〕 キャリアコンサルタントによるワークショップ、個別相談</p> <p>〔方法〕 参集開催（県内1箇所から県内4箇所に拡充、計24回開催）</p> <p>〔人数〕 各20名程度</p>



（3）情報発信の充実

ア 若者女性に選ばれるモデル企業の創出と発信【新規】（再掲）

イ いわて女性の活躍応援サイトによる情報発信の充実

働きやすい職場づくりに取り組む企業紹介ページを拡充

支援制度が必要な人にしっかり伝わる情報発信の方法について検討中



《構成団体・委員》

岩手県消防長会 公益財団法人岩手県消防協会 岩手県婦人消防連絡協議会 岩手労働局 岩手県教育委員会 女性消防職団員	【女性消防職団員】（7名） 小菅 亜紀子 氏（北上地区消防組合 消防司令補） 長谷川 みなみ 氏（盛岡地区広域消防組合消防本部 消防士長） 千田 沙緒理 氏（奥州金ヶ崎行政組合消防本部 消防士長） 藤原 神奈 氏（盛岡市消防団 本部付副分団長） 高宏 美鈴 氏（遠野市消防団 団員） 伊藤 トヨ 氏（奥州市消防団 部長） 山火 和枝 氏（一戸市消防団 団員）
--	--

《令和4年度の実績》

- 1 防災部会の開催（8/2）
女性消防職員及び女性消防団員活躍の現状や課題、今後の取組の方向性などについて意見交換
- 2 取組実績
 - (1) 女性消防職員関連
 - ア 女性活躍推進講習(10/12～13 於：県消防学校)
女性消防吏員28名が参加し、緊急消防援助隊に係る講義や、資機材の取扱い訓練、宿営訓練等を実施
 - イ 全国女性消防吏員交流会への派遣(10/22)
川崎市内で開催された「J F F W」（Japan Fire Fighting Womens Club）へ男女各1名の消防吏員を派遣
 - ウ 県内女性消防吏員研修会(Web視聴)
岩手県男女共同参画センターの公開講座等を活用した研修及びJ F F Wに参加した2名の職員の参加報告を実施
 - (2) 女性消防団員関連
 - ア 消防団等充実強化アドバイザーからの講演(11/10Web開催)
市町村消防団事務担当を対象に、消防団等充実強化アドバイザーによる女性や若者（学生）の消防団への加入促進及び女性消防団員の活躍促進についての講演を実施（43名が参加）
 - イ 消防団員確保対策費補助金（うち女性消防団活躍促進事業）
奥州市：女性消防団員用制服、カラーガード隊ユニフォーム等
 - ウ 「いわて消防団応援の店」登録事業
登録店舗数 412店舗（R5.3時点）

《令和5年度の実組》

- 1 防災部会の開催
今年度の取組内容等を協議（9月上旬頃）
- 2 新規の実組（予定）
消防団員確保に向けて作成するPR動画において、女性消防団員の活動を紹介するなど、情報発信を行う
- 3 継続実組
 - (1) 女性消防職員関連
 - ア 女性活躍推進講習（10月）
 - イ 全国消防吏員交流会派遣（開催地時期未定）
 - ウ 県内女性消防吏員研修会（12月頃）
 - エ 就職活動を行う学生等へのPR強化
 - (2) 女性消防団員関連
 - ア 女性消防団員交流会の実施
・市町村の垣根を超えたネットワーク構築
 - イ いわて消防団応援の店登録事業（随時）
- 4 その他
市町村・消防本部との連携
 - (1) 消防本部人事担当者会議の開催（1月頃）
女性消防吏員の意見や全国の先進事例等を共有
 - (2) 市町村消防団担当者会議（8、10、2月頃）
全国の先進事例、国事業や制度改正等を共有

《構成団体・委員》

学校法人盛岡大学短期大学部
日本保育協会岩手県支部
岩手県私立保育園連盟

認定NPO法人いわて子育てネット
岩手県児童館・放課後児童クラブ協議会（岩手県社会福祉協議会）
岩手県小学校長会

《令和4年度の実績》

1 子育て支援部会の開催（令和4年7月28日）

- ① 女性活躍に向けた、待機児童解消などの子育て支援の促進や、職場における仕事と子育ての両立支援等について、課題や取組の方向性等の検討
- ② いわて県民計画第2期アクションプランの策定に係る意見聴取

【主な意見】

- ・ 将来親になるための準備教育として、学生などの若者に対し、子育てについて考える機会を提供していくべき。
- ・ 働く女性にとって、子どもを生み育てることが自身のキャリアにとって不利にならない、自己実現できる、という安心感がもっとアピールされるとよい。
- ・ 対応が難しい子どもが増えている。支援員や保育士の加配があると、親も安心して働ける。

【対応状況】

- ・ 新婚世帯や若年層に対するライフプランセミナー
ライフプランセミナー 12回開催 受講者254人
[拡充] 未婚者向けセミナー 1回開催 受講者18人
- ・ いわてで生み育てる県民運動
社会全体で子育て支援を行う機運醸成を図る県民運動の実施
[新規] キャッチフレーズの決定、
ロゴデザインの作成、メディア
タイアップ広報等
- ・ 保育サービスの充実・強化等
国に対し、保育士の配置基準の改善、多様な保育サービスの充実・強化等を要望。



《令和5年度の実績》

1 子育て支援部会の開催

（女性の就業促進部会との合同開催予定）

- ① 女性活躍に向けた子育て支援を促進するため、子育て世帯の負担軽減や待機児童の解消、子どもの放課後の居場所確保等について、取組の方向性等を引き続き検討
- ② 人口減少に係る諸課題について、岩手県人口問題対策本部における分析結果を踏まえ、他部会と連携しつつ、仕事と子育ての両立支援に向けた今後の取組内容を検討

【意見交換内容（予定）】

- ・ 人口減少に係る諸要因のデータの共有
- ・ 仕事と子育ての両立支援について
（不妊治療に係る職場理解の普及などを含む）
- ・ 子育ての現場視察、企業の優良事例の共有

＜出生率に影響を及ぼす諸要因（参考）内閣官房資料＞

- ・ 出生率は、大きく「未婚率・初婚年齢」と「有配偶出生率」に分けて分析される。
- ・ それぞれが様々な要因の影響を受けているが、その中で「働き方」は大きな部分を占めていると考えられる。

《構成団体・委員》 【女性の経営者、役員、管理職や起業された方7名】

工藤昌代氏 (株)ホップス 代表取締役
 佐々木祐子氏 (東京土地販売(株) 代表取締役)
 佐藤智栄氏 (株)サトウ精機 代表取締役社長
 畠山いずみ氏 (株)北日本銀行

山田智子氏 (株)山田酒店 取締役
 渡邊さやか氏 (株)re:terra 代表取締役
 渡邊里沙氏 (有)秀吉 取締役

《令和4年度の実績》

部会の開催

- ▶ 他部会との連携（成果、課題の共有）
 - 5/11：意見交換会×農山漁村で輝く女性部会
 - 6/10：先進事例講演会・意見交換会
×農山漁村で輝く女性部会・産学官連携サテライトミーティング
- ▶ 経済団体との連携
 - 7/13：働き方改革 × 盛岡工業クラブ
 - 9/13：男女ともに働きやすい職場づくり
× 岩手県中小企業家同友会
 - 11/11：男女ともに働きやすい職場環境づくり
× 盛岡工業クラブ

講演

- ▶ 11/29：(一社)岩手経済同友会 人づくり委員会
- 男女ともに働きやすい職場環境づくりについて

情報発信

- ▶ Twitter、Facebook
- ▶ ラジオ番組放送（えふえむ花巻、ラヂオもりおか）



▲ ラジオ収録



▲ 岩手県中小企業家同友会との学習会



▲ 岩手経済同友会での講演

《令和5年度の実組》

部会の開催

- ▶ 第1回（6/6）：R5事業検討
 - 経済団体等との連携や情報発信を継続し、男女ともに働きやすい職場環境づくりに向けた働きかけを実施する。
- ▶ 他部会との連携（調整中）
 - 子育て支援部会と連携し、出産・子育てと仕事の両立支援に向けた検討を行う。



出張部会(仮)の開催 \NEW/

経営者や管理職である部会委員が盛岡圏域以外に出向き、課題認識の共有や、提言「男女ともに働きやすい職場環境づくりに向けて」の浸透を図る。

経済団体等との連携

いわて女性の活躍促進連携会議構成団体を中心に、意見交換会や学習会を実施し、経営者等の行動変容につなげる。

- ▶ 9月：岩手県中小企業家同友会
- ▶ 11月：盛岡工業クラブ（調整中）

行動変容につながったのか、経年で検証

情報発信

- ▶ Twitter、Facebookによる発信



いわて幸せに働く応援団
 ～Work for Happiness～



《構成団体・委員》【女性農林漁業者（8名）と構成団体】

曾 澤 麻希子 氏（林業、北上市）	菅 原 紋 子 氏（農業、雫石町）	一般社団法人岩手県農業会議	岩手県漁業協同組合連合会
大 森 友紀子 氏（農業、紫波町）	高 橋 愛 氏（漁業、八幡平市）	岩手県農業協同組合中央会	岩手県農山漁村女性組織連携会議
岡 田 真由美 氏（漁業、大船渡市）	福 士 好 子 氏（農業、岩手町）	岩手県森林組合連合会	岩手県
小 泉 花 衣 氏（農業、奥州市）	細 川 睦 氏（農業、雫石町）		

農林水産業をもっと魅力的に！
キャッチフレーズ **新3K**

輝き らしく、楽しく、
輝く自分

絆 つなぐ、つなげる、
仲間の**絆**

希望 しっかり、かせげる、
希望の未来

《令和4年度の実績》

1 先進的な取組を実施している企業等との意見交換

- 「いわて女性活躍認定企業等」の認定を受けた(株)プラザ企画、信幸プロテック(株)等との意見交換
⇒農林水産業での労働環境の改善や働き方改革に取り組む必要性について理解を深めた



先進企業との意見交換

2 課題解決に向けた各種取組の実施

- デジタル人材育成に向けたドローン実地研修
⇒ドローン操作方法、導入のメリットや活用事例等の知識を習得
- 女性の視点を生かした経営改善の実践に向けた課題解決講座（「女性活躍推進セミナー」）
⇒具体事例やワークショップから、経営改善に向けた課題解決手法を習得



ドローン実地研修の様子

3 女性農林漁業者の育成、情報発信

- 県内の大学生との交流会
⇒就業条件、効果的な情報発信について意見交換



大学生との意見交換の様子

《令和5年度の実績》

1 女性活躍に関する意識改革の推進

- 女性の役員登用等に取り組む先進企業との意見交換
- 男性や年長者の女性参画に関する意識醸成に向けた取組等の検討

2 課題解決に向けた各種取組の実施

(1) 地域の女性活躍に関する意識醸成

10月	アンコンシャスバイアスの解消に向けた研修
-----	----------------------

(2) 誰もが働きやすい環境整備

10月	働き方改革の推進に向けた研修
11月	I C T導入に向けたワークショップ①
12月	I C T導入に向けたワークショップ②

3 農林水産業で働く女性就業者の確保

- ラジオ番組内での農林水産業で活躍する女性農林漁業者の活動を紹介
- 県内の大学生との交流会の開催
- S N Sでの部会の取組を発信



SNSで研修会の内容等を発信

《構成団体・委員》 【（一社）岩手県建設産業団体連合会から13団体及び岩手県】

（一社）岩手県建設業協会、（一社）岩手県電業協会、（一社）岩手県空調衛生工事業協会、（一社）岩手県コンクリート製品協会、岩手県鉄構工業協同組合、（一社）日本造園建設業協会岩手県支部、（一社）日本塗装工業会岩手県支部、（一社）岩手県警備業協会、（一社）岩手県測量設計業協会、（一社）日本補償コンサルタント協会東北支部岩手県部会、岩手県アスファルト合材協会、岩手県防水工事業協同組合、岩手県建設資材連合会

《令和4年度の取組実績》

- 会議**
 - 第1回会議（5月24日）：取組計画の決定、提言書の策定
 - 第2回会議（令和5年2月10日）：取組結果の検証、次年度取組検討
- けんせつ小町部会提言書交付式（7月7日）**
けんせつ小町部会会長から岩手県建設産業団体連合会会長及び県土整備部長に対し提言書（誰もが働きやすい建設業界を目指して）を手交。
- 現場見学会（7月11日）：杜の大橋上部工工事・盛岡バスセンター建設工事**
工事現場を見学し、現場で従事する女性技術者との意見交換を実施。
- 女性活躍推進講座（7月26日）**
これまでの受講対象者に女性職員等を加え、『建設業で働きやすい職場環境づくりに向けて』（若手・女性の活躍と働き方改革）をテーマに研修会を開催。
- いわて建設業みらいフォーラムへの参加（11月1日）**
展示ブースを設置し、部会の取組や女性技術者の活躍状況を紹介するとともに、フォーラムに参加している生徒からの建設業に関する様々な相談等に先輩技術者が対応。
- 工業高校の生徒を対象とした交流会（2月1日）**
建設業のイメージアップを図り担い手確保につなげることを目的に、工業高校生との意見交換会を開催し、併せてDX体験学習会を実施。



「いわて建設業みらいフォーラム：令和4年11月1日」

【参加者の意見・感想】

- 「建設業＝男性」のイメージがあり女性には難しいと思ったが、建設業で働く女性の意見を聞き、建設業もいいなと思えた。
- 設備が整っていて休みもあり、仕事しやすい環境だと分かった。

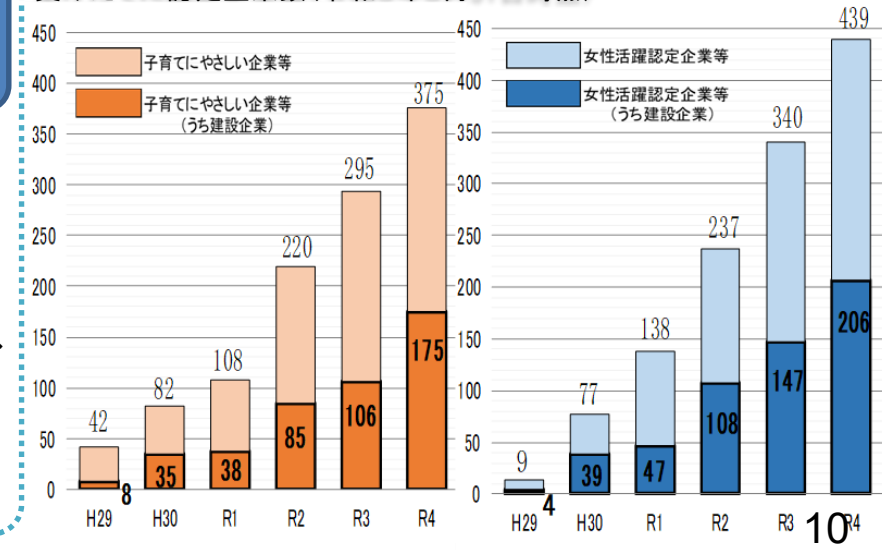
《令和5年度の取組》

- 会議**
 - 第1回会議（7月12日）：取組計画の決定
 - 第2回会議（令和6年2月）：取組結果の検証、次年度取組検討
- 職場環境整備等の取組状況調査（7～8月）【新規】**
「けんせつ小町部会提言書」に掲げる取組について、目標値を定めて、進捗を確認するため、建設企業の職場環境整備等の取組状況を調査。
- 女性技術者等との意見交換会（9～10月）【新規】**
「職場環境改善や女性活躍支援の取組、働き方改革」をテーマに、県外建設会社の女性技術者等と意見交換を実施。
- 女性活躍推進講座（8月7日）【継続】**
「労働時間の上限規制などの働き方改革に向けた解決策と担い手確保にもたらす効果」をテーマに研修会を開催。
- いわて建設業みらいフォーラムへの参加（11月21日）【継続】**
工業高校、普通高校の生徒に加え、その保護者を参加対象とし、若者・女性への入職促進に向けた取組を強化。
- 工業高校の生徒を対象とした交流会（令和6年2月）【継続】**

建設企業における子育て・女性活躍に対する意識の変化

「いわて子育てに優しい企業等」の認証や「いわて女性活躍認定企業等」の認定を受けている企業数が令和4年度まで年々増加し、登録企業数は、それぞれ175社、206社となっており、建設企業の意識の醸成が進展（右図）。

（図）「子育てやさしい企業等」の認証及び「女性活躍認定企業等」の認定を受けたてに認定企業数（令和5年3月31日時点）



《構成団体・委員》 ※敬称略

栗山知佳	(盛岡信用金庫課長代理)	岩間海	(盛岡市市民部市民協働推進課男女共同参画推進室主事)
小泉花衣	(農業)	熊谷和	(花巻市地域振興部地域づくり課主査)
横澤則子	(国立大学法人岩手大学ダイバーシティ推進室特任研究員)	高橋温子	(北上市まちづくり部地域づくり課係長)
小嶋美沙子	(公立大学法人岩手県立大学看護学部講師)	糠森美幸	(遠野市産業部商工労働課主任)

《令和4年度の実績》

◆ ミーティングの開催

- ・ 第1回 (6/10)
いわて働く女性のネットワークサークル立ち上げに伴う運営方法等の検討
- ・ 第2回 (3/14)
今年度の活動振り返り、次年度活動検討

◆ いわて働く女性のネットワークサークル イワテナ

※メンバー数：63名 (R5.6.30現在)

- ・ ミーティングの活動や大学・行政の取組に、県内で働く女性の生の意見を取り入れるため立ち上げ
- ・ 県内の企業・団体等に勤務する女性が参加可 (年齢・職業を問わない)
- ・ 働く女性にまつわるさまざまなテーマをもとにした意見交換や悩みの共有、キャリアアップにつながる勉強会等を開催しながら、メンバー同士で交流・ネットワーク形成

〈開催状況〉

	開催日	テーマ
第1回	R4.8.31	仕事のやりがい
第2回	R4.12.18	キャリアアップ
第3回	R5.3.14	コミュニケーション勉強会

「イワテナ」×「アテナ(ギリシャ神話の女神)」
→「いわての女神たちが語り合う場」の意



もっとキャリアアップしたい！
仕事の悩みや不安を相談したい！
友達をつくりたい！
職場に女性が少ないから情報交換ができればいいな...
そんなあなたにおすすめ！
女性が働きやすい職場について考えてみたい

いわて働く女性のネットワークサークル
イワテナ
メンバー募集

“働く女性”であれば誰でも参加OK！職業や年齢も問いません
みんなで集まってゆるやかに交流しながら、楽しく働き続けていくためのヒントを探してみませんか？

お問い合わせ
いわて働く女性のネットワークサークルイワテナ事務局
(岩手県若狭女性協働推進室／産学官連携サテライトミーティング)
☎ 019-629-5346 E-mail: AC0006@pref.iwate.jp
<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/seishounendanjo/1004930/1056357.html>

《令和5年度の実績》

◆ 取組の方向性

- ・ イワテナの活動を定期的に行い、メンバーのエンパワメント向上やメンバー同士のネットワークを強化
- ・ イワテナの活動を通じて得られた、県内で働く女性の生の意見を踏まえ、女性の意識向上やキャリアアップにつながる勉強会等の開催、大学・行政の取組への反映等について検討

◆ イワテナの活動

	開催日	テーマ
第4回	R5.7.26	仕事と家庭（育児・介護・家事・趣味などのプライベート等）の両立
第5回	9～10月頃	メンバーの意向に沿ってテーマを設定
第6回	11～12月頃	メンバーの意向に沿ってテーマを設定
第7回	1～2月頃	メンバーの意向に沿ってテーマを設定

